

広陵民報

2018 (平成 30) 年 7 月-042

発行：日本共産党広陵支部

町会議員：八尾春雄 0745-60-0972

snkb30217@hera.eonet.ne.jp

町会議員山田みつよ 0745-55-7003

my22@kcen.jp

日本共産党広陵町議員団 HP

http://koryo-jcp.jp/

これって納得できますか？

町三役の報酬が年間計114万円引き上げられます。

6月議会では特別職報酬等審

議会答申」に基づいて町三役の報酬引き上げが提案されました。月額では、町長が81万4千円から84万円に、副町長が67万1千円から69万2千円に、教育長が59万4千円から61万3千円に改定するというもの。期末手当(賞与)を含めると計114万円を超えます。

報酬は低いほどよいという立場ではありませんが、高い国保税や介護保険料の負担に苦しむ住民感情から言ってもこんな話は通りません。既に高額が支給されている町三役の報酬をさらに引き上げることが許されないで、日本共産党議員団は反対しました。

4年間で高額退職金を受け取る仕組みも温存

さらに問題なのは町長の退職金です。民間や公務員と異なり任期満了毎に退職金が支給されます。県の退職手当組合の規定で毎月の報酬の52%が支給されますので、84万円×5.2×4＝1747万円ということになります。

提案された議案では、町三役の報酬引上実施時期は、現在の三役は対象とせず、次の任期に就任する三役から適用するとしています。住民の目は厳しいことを指摘しておきます。

日本共産党は庶民感覚からかけ離れた高額退職金について、当面半額に減額するため、退職手当組合や町村会の中でも真剣な検討と協議を要求します。

尚、特別職報酬等審議会は、会長の堀田建夫氏以外に、東洋一氏・池島哲氏・植村和由氏・近江郁子氏・樟田俊一氏・赤銅修氏・出張緑氏計8名で構成され答申と同時に解任されています。

議員報酬は月額30万円から30分の1カット(＝29万円)を継続中

町会議員は自主的な協議で条例改定を行い、平成27年12月から月一円のカットを実行しています。これを元に戻すことは現在考えていません。

国保税の上限改定で増税

を専決。こんなやり方は

許せません。

町は法律改定を理由に、国保税の課税上限額を54万円から58万円に改定する専決を行いました。

この結果、14世帯で201万円の国保増税となります(保険年金課のデータによる)。住民負担を強化する議案であれば、少なくとも専決でなく議案審議を伴う通常の手続きが必要だし、何より国保税の軽減化を求める住民の声に逆行しています。*専決：通常は議会審議と採決が先ですが、専決の場合は町長が先に決定し事後に議会審議となります。議会が否決しても町長の決定は覆りません。

ブロック塀の緊急点検

を要望↓町内全域に点検進む

6月18日朝の大阪北部地震で町内でも被害が出ています。関係者の皆様にお見舞い申し上げます。今回の地震では9歳の女兒が学校

のブロック塀の下敷きになって死亡する事故が起きました。日本共産党議員団で教育委員会に対し校舎の緊急点検を申し入れたところ、報道されているように広陵北小学校で不具合が見つかり、町はブロックの一部を撤去すること、付近に子どもたちを近づけないことなど協議しています。さらに、学校以外の民有地においても法令違反や既にひび割れている危険個所などについて点検が進められています。

カジノに「公益性」なし。

賭博の違法性拭えず巨額の利益が海外業者に流出するカジノ法案は廃案に！

国会は最終版です。日本共産党の追及で、カジノ業者は、儲けた3割は国・地方自治体に納付するが7割は懐に入れる仕組みになっていることが明白になりました。せうしてそれで賭博という犯罪行為が合法化されることになるのか(大門みきし参議院議員)との質問に回答不能に陥っています。カジノに公益性は皆無で、ギャンブル依存症が50万人を超える我が国でさらにギャンブル依存症を拡大し家庭崩壊を招きます。こんな法案は廃案にすべきではないでしょうか。

議案の賛否

(敬称略) <賛成○・反対×> 日本共産党議員団は6月議会で提案された20議案の内16議案に賛成、4議案に反対しました！

意見書/決議等	日本共産党		公明党		無所属										結果
	やっお春雄	山田みつよ	吉村眞	山村	濱野	吉田	坂野	吉村裕	坂口	堀川	奥本	谷	笹井	青木	
特別職三役(町長・副町長・教育長)の報酬引き上げ	×	×	○	○	○	×	○	○	×	加わりません 議長のため採決に	○	×	○	○	賛成8・反対5で可決
国保税引き上げ(増税)	×	×	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	賛成11・反対2で可決
介護保険特別会計予算	×	×	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	賛成10・反対3で可決

八尾春雄議員・一般質問

(1) 国保と後期高齢者保険の健康診査格差を是正してほしい

(問) 74歳まで毎年の健康診査を集団健診で受けてきた高齢者が、75歳になったとたんに集団健診の対象でないと排除され、特定保健指導も受けられなくなっている。年齢によって受けられる健康診査に差別が持ち込まれている。すみやかに是正してほしい。

(理事者) 指摘されたことはもっともなことであり、加入している健康保険によって差が生じないように前に向きに検討して解決したい。

(2) 広陵北小・西側の生活・通学道路の安全確保について

(問) 旧広陵北保育園解体工事に伴い8月末まで通行止めとなっているが、付近の皆さんの生活道路であり、大野・寺戸の小学生の通学路でもある。通行可能になっても道路横の廃屋から瓦の落下など危険がある。持ち主に安全対策を求めただけでなく、町が最低でもシー



トで覆いロープで縛ってほしい

(理事者) この物件は所有者において解体撤去を予定しており、道路も8月13日より通行可能となる見込み。

(3) 教員の長時間労働について

(問) 既に文部科学省は本年2月9日の通達で、月45時間を超える残業は健康に障害が出ることを根拠に、学校長や教育委員会に対して残業時間削減を指示しているところが町内のある小学校の現場で確認をとると、教員は学校長に対して残業申請をまったくしていない。出勤簿には出勤時の押印のみで退勤の記録がない。学校長から各教員に対する残業申請の確認は終業時には行われていないなどの驚くべき実態が判明した。これで残業抑制などできるわけではない。

(理事者) 学校長の対応を見直すとともに、国・県が進める校務支援システム(タイムカードを使用する)を来年度導入し改善する。

その他：近鉄五位堂駅を安全で利用しやすい駅にするために

山田美津代議員・一般質問

(1) 給食無償化を多子世帯支援から実施してほしい

(問) 憲法26条では義務教育はこれを無償にする」とされているのに保護者は毎年約10万円副教材費



や実習材料費などに支払っていて負担が大きい。全国で給食費の無償化を進めている83の自治体は少子化対策だけでなく子育て支援や給食を教育の一環として進めている。町もまず多子世帯への支援から始め全員無償化へと検討を始めるべきではないか。

(教育長) 文科省が示す無償の範囲は授業料や教科書は無償だが給食費は保護者負担となっている。低所得者には就学援助している。給食費は消費税も上がる予想なので値上げも検討中。多子世帯支援は総合的に考慮する。

(2) 公共交通の充実を。

(問) 百済の今市や古寺町営住宅などに元気号の停留所を増やしてもつと使いやすくして欲しいという

声が多い。その実現と共に香芝市と連携して広陵町にデマンドタクシーを乗り入れることを検討すべきだ。高齢者の免許証返納にはこのデマンドを整備することが必要。

(町長) 元気号は28年度と比べて6307人利用者が増えている。今

年は見直しの年に当たり地域公共交通活性化協議会の中で十分審議していく。香芝市との相互連携の中で公共交通も検討課題なので検討する。

(3) 広陵西小地域の開発による待機者について

(問) 町全体で住宅開発が進み、特に西小学校地域で100軒近くの増加が予想され小学校は空き教室もない。放課後育成クラブや保育所も待機者が出ていて子育て中の保護者から悲鳴が上がっている。この状態であれば今の内に待機者の解消を計画的に進めておく必要があるがどう検討しているのか。

(町長) 育成クラブは今年6月には待機者も解消した。今後多くの開発が予想される中で認定子ども園の整備や小規模保育事業、育成クラブでは受け入れ施設の整備や指導員確保、受け入れ児童要件など見直しを検討している。

その他：LGBTの方への支援やとりくみについて



今井光子県議

みっちゃんの日記6月22日より



宮本議員が代表質問 傍聴席から鳴りやまぬ拍手

宮本次郎議員が代表質問。奈良県だけ特別に設置率が低い小中学校のクーラー問題。大勢傍聴に来ていただいた高校統廃合問題。鳴りやまぬ拍手は初めてでした。奈良県の高校は全国の同人口規模の県と比べても少ない。しかも母校の名前までなくなることはこれから人生を生きて行く上で、〇〇高校の卒業生という支えがなくなることににもなりマイナスも多いと思います。根っこを切り捨てて大きな木を育てようとしても育ちません。拙速に答えを出さず、もう少し議論すべきではないでしょうか。